

食の安全に関するリスクコミュニケーションの 在り方に関する研究会（第4回）

平成17年2月7日(月)
14時30分から17時00分
厚生労働省共用第8会議室

議 事 次 第

- 1 開 会
- 2 前回までの研究会の主な議論
- 3 意見交換会の現状と参加者の主な意見のご報告
- 4 リスクコミュニケーション担当者トレーニングプログラム
- 5 意見交換
- 6 閉 会

<配布資料>

- 資料1 前回までの研究会の主な議論
- 資料2 リスク分析におけるリスクコミュニケーションの目的と食品安全行政の目指すもの
- 資料3 意見交換会の現状と参加者の主な意見
- 資料4 厚生労働省「食品安全情報」ホームページの変更について
- 資料5 食の安全に関するリスクコミュニケーションの在り方に関する研究会報告中間とりまとめ（骨子素案）

前回までの研究会の主な議論

I. リスクコミュニケーションの取組に対する主な意見

1. 総論

- リスク分析の考え方におけるリスコミの目的（関係者の意見を施策に反映）
 - ・目標が不明確、何を伝えようとしているのかよく分からない

2. 意見交換会

- 目標の明確化と達成度に対する評価
 - ・目標設定と自己評価
- 参加者に分かりやすい説明
 - ・分かりやすい資料、タイトル（単なる簡素化ではない）
 - ・分かりやすい表現（プレゼン能力のトレーニング）
 - ・映像媒体の活用
 - ・誤解されやすい問題点に対する十分な説明
- 公平性の確保、フェアネス
 - ・信頼されるコンテンツ作成
- 双方向性の確保
 - ・質問と説明、立場の違う者の意見表明から意見交換へ
 - ・意見交換会で出てきた意見はどうなったのか
- 意見交換会の対象者
 - ・消費者とは（消費者団体と一般消費者、サイレントマジョリティー）
 - ・マスメディアとの意見交換
- 多彩なメニュー
 - ・少人数で議論を深める
 - ・官民連携での主催

3. ホームページ

- 一般の人に分かりやすく
 - ・官僚的な表現を一般化
 - ・会議報告には要約を
 - ・リンク先についての簡単な説明を
- 基準値やデータなどの情報提供（信頼の高いサイトから）
 - ・基準値などの情報
 - ・通知や通達を見やすく整理
 - ・基準値を達成するためにどうすればよいかの情報
- 子供向けサイト（キッズサイト）の作成
- 利用者のニーズに応じた情報提供
 - ・専門家向け、行政関係者向け
- 検索しやすく
- 英語ページの充実

4. リスクコミュニケーターのトレーニング

- トレーニングプログラムの作成・実行
- トレーニング成果の活用と維持のための組織としての規範の確立

5. 事例研究

- 病原性大腸菌O157集団食中毒事件への対応についての考察

Ⅱ. 今後改善すべき事項

1. 意見交換会

- 目標の明確化
 - ・チェックリストの導入
 - ・アンケート項目の見直し
- 映像による説明の導入

2. ホームページ

- ホームページの見直し

3. トレーニング

- プログラムの作成
- 研修の実施

4. その他

リスク分析におけるリスクコミュニケーションの目的と 食品安全行政の目指すもの

リスク分析手法の導入

○リスク分析とは、国民の健康の保護を目的として、国民やある集団が危害にさらされる可能性がある場合、事故の後始末ではなく、可能な範囲で事故を未然に防ぎ、リスクを最小限にするためのプロセス

リスク評価

食品安全委員会

- ・リスク評価の実施
健康に悪影響を及ぼすおそれのある物質が食品中に含まれている場合に、どのくらいの確率でどの程度の悪影響があるのか評価

食品安全基本法

リスク管理

<p>厚生労働省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品中の含有量について基準を設定 ・表示 ・基準や表示が守られているかの監視など <p>食品衛生法等</p>	<p>農林水産省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬の使用基準の設定 ・えさや肥料中の含有量について基準を設定 ・動物用医薬品等の規制 ・表示 <p>農薬取締法 飼料安全法 等</p>
--	---

リスクコミュニケーション

- ・食品の安全に関する情報の共有と相互の意見交換
- ・消費者等関係者の意見の施策への反映

リスク分析の考え方に基づく、科学的、合理的かつ透明、公正な食品安全行政の実施

食品の安全に対する国民の信頼の構築